

○水道カルテから考える今後の計画

○今後の計画

「第4次水道事業総合計画」及び「上下水道耐震化計画」の目標達成に向け
料金回収率100%を確保しつつ施設の耐震化・更新を着実に実施

- ◆ 施設・管路の耐震化
 - ・ 施設耐震化計画の策定
 - ・ 管路耐震化計画の推進
- ◆ 計画的な施設・管路の更新
 - ・ 施設機能診断等に基づく計画的かつ効率的な更新
 - ・ 定期的なアセットマネジメントの実施
- ◆ 施設配置の再構築
 - ・ 水需要予測に基づく適正な施設規模の検討
 - ・ 統廃合、再編、適正配置
- ◆ 施設の保全
 - ・ 設備台帳システムによる健全度の把握

運営基盤を強化

- ◆ 経営基盤の強化・経営の効率化
 - ・ 更新需要とお客様のニーズに適した料金制度の最適化や収入の確保
- ◆ 広報活動・見える化の充実
 - ・ 事業のPRとお客様へのサービス向上のため情報提供を充実
- ◆ お客様ニーズへの対応
 - ・ 住民意識調査を継続して実施

グループⅡ－〇に

〈参考〉

○第4次水道事業総合計画 (H30策定、R5.2改定)

項目	重要業績評価指標 K P I	実績 H28 2016	目標値 R10 2028	増減	
1	有効率	91.4%	93.9%	+2.5P	↗
2	有収率	89.0%	91.4%	+2.4P	↗
3	管路の更新率	0.86%	0.45%	-0.41P	↘
4	浄水施設の耐震化率	42.1%	42.1%	±0	→
5	ポンプ所の耐震化率	91.0%	94.2%	+3.2P	↗
6	配水池の耐震化率	33.8%	49.4%	+15.6P	↗
7	管路の耐震化率	41.4%	48.7%	+7.3P	↗
8	基幹管路の耐震化率	70.9%	75.0%	+4.1P	↗
9	重要給水施設配水管路の耐震化率	54.0%	58.0%	+4.0P	↗

〈参考〉

○上下水道耐震化計画 (R7.1策定)

水道システムの急所施設の耐震化	令和5年度末	目標 令和11年度末	
取水施設の耐震化率	32.2%	32.2%	—
導水施設(導水管)の耐震管率及び耐震適合率	75.5%	75.5%	—
浄水施設の耐震化率	42.1%	42.1%	—
送水施設(送水管)の耐震管率及び耐震適合率	85.3%	85.3%	—
配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)の耐震化率	49.7%	51.6%	+1.9P
ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)の耐震化率	94.3%	94.3%	—

〈参考〉

避難所等の重要施設に接続する 水道管路の耐震化	令和5年度末	目標 令和11年度末	
下水道処理区域内の配水管(配水本管+配水支管) の耐震管率及び耐震適合率	61.9%	69.2%	+7.3P
下水道処理区域外の配水管(配水本管+配水支管) の耐震管率及び耐震適合率	33.1%	42.4%	+9.2P
全 体	52.8%	60.6%	+7.9P

上下水道管路共に耐震化率が100%となる 重要施設	施設数	令和5年度末	目標 令和11年度末
下水道処理区域内	64箇所	0箇所	11箇所
下水道処理区域外	23箇所	0箇所	4箇所
全 体	87箇所	0箇所	15箇所